

しでがの通信

第 79 号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

として保存して下さい



真剣な顔、顔、顔

目次

子育てのあれこれ	1
六才白歯のむし歯とはみがき	2
北小だより	3
恒例のバザー終る	4
無事故記録オメデトウ	4
活発な学年行事	4
ですくさいと	4

子育てのあれこれ

学校長 山中久二

中学生は生徒と呼ぶ。徒(いたずら)に生きる子たちと呼び代えてみたい行為が、一部の中学生に見られる。学校のガラスを割り、修理中のガラス屋さんに、「もつと儲けられるように割ってやろうか」と、声をかけている。罪悪感が見られない。

本校の児童(身体・精神ともにまだ未成熟な子ども)は、朝夕、外でも窓ごしにも、気持よくあいさつをかけてくれる。このような子たちが、どうして徒に生きる子に変容していくのであるか。その原因は様々な要因が複合されているといわれているが、主に家庭教育にその遠因があるといわれる。学校では、信頼される生徒や社会人への基礎作りとして、知・徳・体の調和のとれた人間をねらい、

その基礎を培ってやりたいと考えている。それは、よく考え進んで学ぶ子(知)、やる気をおこし仕事に打ちこむ子(意・徳)、たがいに励まし助け合う子(情・徳)、自然に親しみからだを鍛える子(体)、を目標として教育活動に生かすように努めている。

一方現社会は、多くの進歩と改善が見られ、精神面では大いなる自由が、物質面では大いに豊かになり、世界で一番恵まれた社会といわれている。然し、民主主義のはきちがえと物質万能主義におちいり、自分勝手な考え方から、温かい人情で人々や社会を大切にすることを忘れ、精神的な退廃を呼ばれる世の中になってきている。これを救うのは、社会的な道徳心情が人々に宿ることであり、今社

去る十一月十九日、羽津北小学校建設委員会が羽津地区市民センターで開催され

一、羽津北小学校の校章について、PTA常任委員会、自治会長会議、羽津小学校職員会議で多くの支持を受けた下図の案が全員一致で決定されました。

二、来年度開校に向けての、通学路の安全対策を中心としたPTAよりの陳情内容（十月一日に教育委員会に提出）に基づく進捗状況の報告及び、その他の安全対策についての協議がなされました。

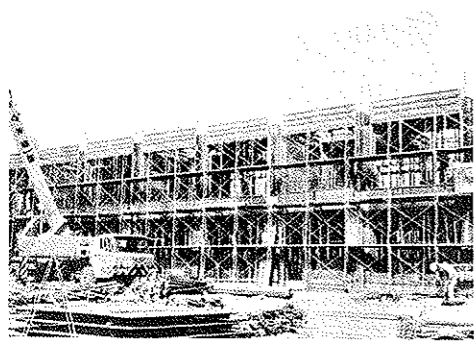
三、開校当初に必要と思われる学校設備及び、それに伴う予算についての協力をお願いしましたが、開校式に関する部分については考慮願ひ、その他の部分については今後市当局に働きかけると同時にPTAで対策を検討していくことになりました。

校章きまる！！

北小だより



早く完成するといいな



会が必要だとしていっているものである。では、家庭教育の一端を省みて、僕が生きてきているか駒をさらしてみたい。3才前後の孫の行動を二年間に亘って追跡してみた。2才過ぎの乱業時代に、火鉢の灰いじりを、つめぎって、たしなめた。4才すぎた今もやろうとはしない。門から大道に出るときの左右の確認。親の許可なしに食物は口にしないこと、ころんでも泣かない、など、隣人に教えられ学んだ娘のきびしい眼が生きている。

他面では、成人式を早く過ぎた我が子が、「行ってきます」「只今」が言えない。教え学ぶ時期に、祖父母が「忘れ物は」「早く帰ったなあ」と、あいさつの先どりをしてしまつた結果である。学校でも、これに似た子が散見される。祖父母の過保護に似た家庭環境が、現各家庭にも推察されるのである。幼児期に、関東大震災の教訓を継がれた東京の子供の行為を教えたことがある。身につける物、明日学ぶ物を枕許におき寝る僕は、今も守られ、それがたたくな几帳面さに変身している。だが、この几帳面さも、育つ節々での友だち社会や勤め社会で鍛えられてこそ本物になることも教えられた。それは、隣人の心情を無視したものとなつたり、神経過度な細い人間に様変わりすることがある。いかに、

よき僕でも、育つ時代の友人間や社会での絆りが大切か教えられる。子育てした反省から、心していきなさいことを列記してみると、

○健康が何よりの子供の財産である。健康を害すると過保護から、成長の節目となる学ぶこと、教えることが不消化となる。

○安易な比較をしての刺激剤はさけること。よく、兄は、姉はという比較で子供を評価し、励ます刺激剤にしている。反発や劣等感を植え付ける方が多くなる。兄弟と言えども育つ環境によって性格は異なる。その子の持ち味を生かすことと、育てるべき能力を伸ばしてやることである。

○「がまん」は、心のたくましさ育てる。耐性の宿つてない子が多くなつていりし、それが、家庭暴力や学校暴力の引き金となり、友人や社会を、両親を困らしている。自分だけの勝手ままさは、人間社会で生活していく限り許されない。幼児から児童期に、両親が範を示し、教えていくことである。

○生物や物を大切に（浪費しない）心情を、家庭であらゆる機会を捉え育てることである。又、地域ぐるみで、この育て易い場作りを努力すること期待したい。

六才白歯のむし歯とはみがき

第一大白歯のことを 六才の頃はえてくることから 六才白歯とよばれるようですが、本校の子どもたちの二年生から六年生の六才白歯のむし歯の様子は、左の図に示す通りです。年を追うごとに増加し、六年生では実に55パーセントの子ども達がむし歯になっています。

	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
2	健康		81		9	10				
3	64		16		20					
4	62		23		15					
5	56		30		14					
6年	45		25		30					

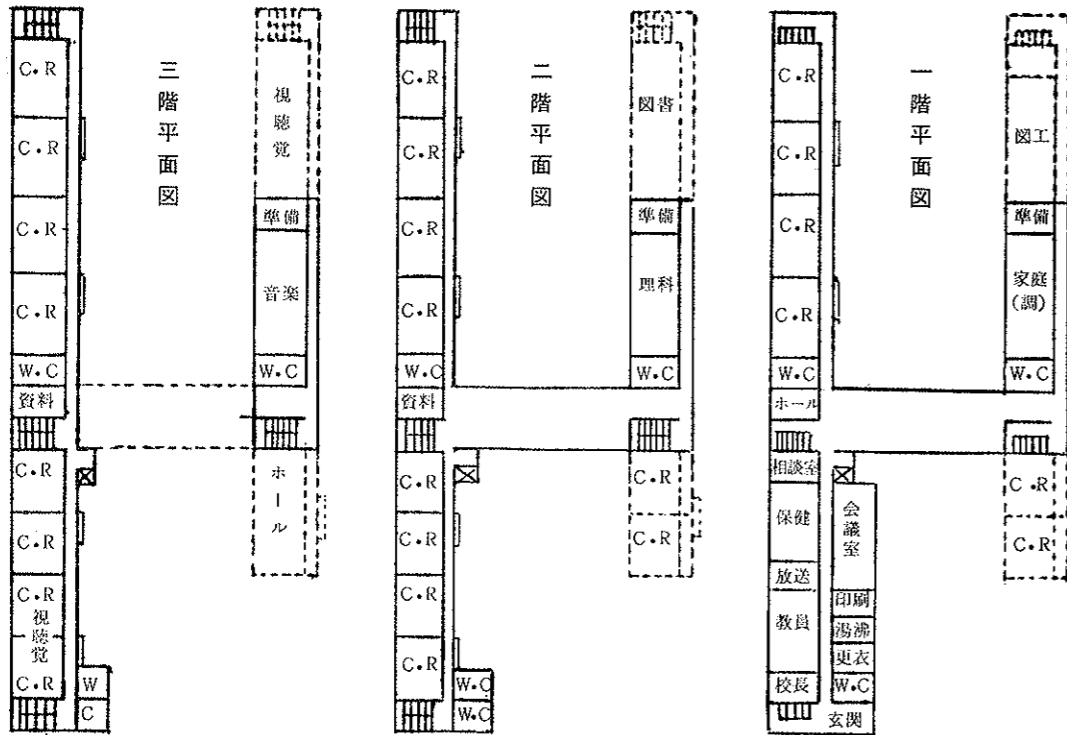
歯の中で、この六才白歯ほど咬む力は強く大変な働き手なのです。が、悲しいことにむし歯になりやすい状態にあります。そのわけは、

この歯は、六才前後に乳歯が抜けた後に出てくるのではなく、乳歯の一番奥にはえてくるため、力もたまりやすく、歯ブラシが届きにくく、歯そのものもまだ弱い等の悪条件が重なって、むし歯になるようです。

ご家庭で、この時期にお子さんの口の中をのぞいてお子さんに歯が生えていることに気づかせこの歯を一生使わなければならぬことを指導していただくと、子どもの感心も少しは違ってくるのではないのでしょうか。

一般的に歯が出て二〜三年は、石灰化が不十分でむし歯になりやすい性質もあるようですので、子どもの歯を守るために十分な栄養と歯みがきが大切になると思われます。これから寒くなるにつれおっくりになりますが、家族全員でとり組んでいただきたいと思います。

この他、ひどい便秘や肥満・骨折等々、子どもの健康に関する問題はたくさんありますが、食事のかたより、間食の与え方等いろいろ、学校・家庭で考えてみる必要があるのではないのでしょうか。



点線部分は将来計画

恒例のバザー終る

福祉保険部

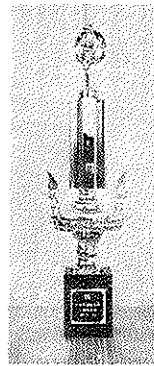
去る十一月二十九日晴天の下、羽津中学校校庭において、小中合同のバザーが開催されました。恒例とはいえ、今年の日曜日とあって朝早くからたくさんの人々がつめかけました。会場はまたたく間に人の波で埋まり、一時間たらずのうちに殆んどが売り尽されるところに盛況ぶりで、昨年を上回る実績をあげて無事成功裡に終了致しました。バザー開催にあたりましては会員の皆様の善意あるあたたかいご理解と最後まで骨身もおしまぬご尽力を賜りました各委員さん、役員の方々に心から感謝申し上げますと共にこの紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



早い者、勝ちヨ

表彰状

学校教育の円滑な推進を
はたす安全委員会委員さん
積極的な活動努力を賞
をあげられたい表彰状
昭和五十六年十二月二十一日
福祉保険部 代表 渡辺 啓



「無事故記録オメデトウ」

十月二十九日、日本学校安全会より羽津小学校に対し、三年間無事故記録の表彰が行なわれました。学校での安全教育・安全協会・PTA立哨委員会・地区ぐるみの安全指導の結果です。今後共よろしく御指導願います。

“体育館前築山庭園造り”

保険団体収益金ヨリ

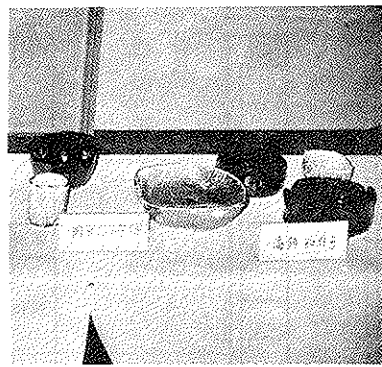
体育館前に築山庭園を造る事に決定しました。来春迄に、黒松・サザンカ・ツゲ・モミジ・石等を配置した小庭園の予定です。お楽しみに。

陶芸作品展示さる

文化部

夏休み中に作られた作品を10月末に森氏宅で色付をし、本焼きをしていただき、両親学級の日、体育館に展示されました。

本職願負けね



“活発な学年行事”

10月に入り各学年共、学年代表学級委員さん先頭に、先生方、親と子供多数の参加のもとに、親子のコミュニケーション・映画・歌・フォークダンス・小運動会等を親睦的・前進的に行なって戴きました。初めての試みに、それぞれの反省も含め、今後のPTA活動のあり方に新しい動きが見られた事に、深い関心が示されました。



で
す
く
さい
ど

- してがのつどいは人の和のつどい、心あたたまる。
- 子育てにベテランはないといえます。多くの悩みの中で語り合いましよ
- 秋ノ芸術にスポーツに、年中で絶好の季節それに親子で行なわれた、多彩な行事。去りゆく思ひ出が脳りをかけめぐる。
- 三人の会話
- 良い子 新聞づくりって大変ネ
- 悪い子 ウソ
- 普通の子 ソウヨ、大変ヨ。
- ちなみに私は良い子ブリッ子。
- 冬眠に入ったサムガリ虫君達、春が来るまでおやすみなさい。